

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
(オリンピック・パラリンピック教育地域拠点)」(令和3年度)

実施報告書



岩手県教育委員会

令和4年2月

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、岩手県が実施した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（オリンピック・パラリンピック教育地域拠点）」（令和3年度）の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

目 次

事業概要

I	事前セミナー	2
II	推進校視察報告	
1	盛岡市立仙北小学校	4
2	盛岡市立山王小学校	5
3	北上市立黒沢尻西小学校	6
4	釜石市立鶉住居小学校	7
5	宮古市立花輪小学校	8
6	奥州市立東水沢中学校	11
7	二戸市立金田一中学校	12
III	実践報告会	14
IV	オリンピック・パラリンピック教育に関するアンケート	16

《推進校一覧》

No	校種	学 校 名
1	小学校	盛岡市立仙北小学校
2		盛岡市立山王小学校
3		北上市立黒沢尻西小学校
4		釜石市立鶉住居小学校
5		宮古市立花輪小学校
6	中学校	奥州市立東水沢中学校
7		二戸市立金田一中学校

I 事前セミナー

【開催概要】

1 目的

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（オリンピック・パラリンピック教育地域拠点）」（令和3年度）」の開始にあたり、本事業の概要説明と推進校のオリンピック・パラリンピック教育に関する指導方法について理解を深めるとともに、推進校における効果的な事業の展開に資することを目的とし、開催したものである。

2 主催

岩手県教育委員会

3 協力機関

(1) 早稲田大学 オリンピック・パラリンピック教育研究センター

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業(全国中核拠点)」岩手県担当

(2) 県文化スポーツ部スポーツ振興課

(3) 県文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック推進室

4 期 日

令和3年6月18日（金）

5 会 場

岩手県営武道館

住所：盛岡市みたけ 3-24-1 TEL：019-641-4577

6 参加者

(1) 推進校担当教員（各校1名）

(2) 教育事務所担当者

7 日 程

(1) 挨拶（13:20～13:30）

岩手県教育委員会事務局保健体育課 総括課長 清川 義彦

(2) 講義「オリンピック・パラリンピック教育とその進め方（オンライン）」（13:30～14:30）

講師：岡田 悠佑 氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）

(3) パラリンピック競技体験（ボッチャ・ゴールボール）（14:40～15:40）

講師：菊池 大輔 氏（岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員）

(4) 説明・質疑応答「自校のオリパラ教育の推進計画について」（15:50～16:20）

説明：齊藤 智彦（岩手県教育委員会事務局保健体育課 主任指導主事）

質疑応答：岡田 悠佑 氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）

(5) 連絡（16:20～16:30）

(6) 閉会

【内容】

令和3年6月18日（金）、岩手県営武道館において本県のオリパラ教育推進校として指定した小学校・中学校、計7校の担当教員及び各推進校に対して助言を行う各教育事務所保健体育担当指導主事の参加により、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（オリンピック・パラリンピック教育地域拠点）」（令和3年度）事前セミナーを開催した。

講師として早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの岡田悠佑氏を依頼し、オンラインにて本事業の概要や学校におけるオリパラ教育の意義、これまでの実践事例をもとにした効果的なオリパラ教育の進め方等について説明があり、学校で活用できるオリンピックやパラリンピックの指導参考教材や映像教材について紹介していただいた。

パラスポーツ体験では、岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課主査スポーツ専門員の菊池大輔氏を講師としてお招きし、ボッチャとゴールボールの体験を行った。ボッチャのルール、ゲーム展開の仕方などを学び、各推進校の担当教員や各教育事務所指導主事がそれぞれの学校や訪問校でパラスポーツの体験授業を指導するきっかけとした。

説明・質疑応答では、事務局担当者から今後1年間のスケジュールについて説明を行うとともに、宮古市立花輪小学校の根木地淳副校長先生から、これまでの豊富な取組事例を紹介していただいたことで、今後の取組に対するイメージを深めるうえで大いに役立つものとなった。

また、講師の岡田悠佑氏にもオンラインで各推進校担当教員からの質疑応答に対応いただいたことで、担当教員の不安を解消するとともに、今後の取組への意欲を高める機会とすることができた。



Ⅱ 推進校視察報告

1 【盛岡市立仙北小学校】

- (1) 実施日時 令和3年11月30日(火) 13時50分から15時30分
- (2) 対象 講演：5・6年生 235人 実技：6年生 122人
- (3) 派遣講師 山田 美諭 氏 (オリンピック)
(テコンドー 東京2020オリンピック大会日本代表選手)
- (4) 事業内容 (講演・実技)
13:50 ～ 開会行事
13:52 ～ 講演・質疑応答・デモンストレーション・写真撮影
14:35 ～ 体験活動 (テコンドー体験)
15:25 ～ 閉会行事
15:30 終了

(5) 講演内容

演題「夢中になれるものを見つけよう」

- ・自己紹介 (全国優勝8回、世界大会3位)
- ・テコンドーって何? <<競技の動画を視聴>>
- ・私のテコンドーの歴史
- ・ケガから学んだこと
- ・夢中になれるものを見つけよう (みんなへのメッセージ)
- ・デモンストレーション

演舞として、「踵落とし」「まわし蹴り」による板割りを披露。

(6) 実技内容

山田選手の指導により、テコンドーで用いられる技を体験し、上手にできた児童が全体に披露をするなどした。

- ・チャリヨ (気を付け)、キョンレ (礼)
- ・アップチャギ (前蹴り)
- ・アットリョチャギ (前回し蹴り)
- ・ネリョチャギ (踵落とし)
- ・1と2の二段蹴り
- ・ティットラチャギ (後ろ回し蹴り)
- ・ターンチャギ (回転蹴り)



2 【盛岡市立山王小学校】

- (1) 実施日時 令和3年10月12日(火) 13時15分から14時50分
- (2) 対象 4・5・6年生 76名
- (3) 派遣講師 田中 光哉 氏 (パラリンピアン)
(パラテコンドー 東京2020パラリンピック大会日本代表選手)

(4) 事業内容 (講演・実技)

- 13:15 ~ 開会及び講師紹介
- 13:20 ~ 講演
- 13:50 ~ 休憩、準備
- 13:55 ~ 実技
- 14:45 ~ 写真撮影
- 14:50 終了



(5) 講演内容

演題「パラリンピック授業」

- ・自己紹介 (自身の障害について)
- ・パラリンピックについて (考え方、特徴、競技種目の紹介など)
- ・パラテコンドーのデモンストレーション (ミットを使った蹴り技の紹介)
- ・東京2020パラリンピック競技大会に参加して (試合の様子、選手村での生活、閉会式等)
- ・山王小学校の児童たちへのメッセージ

「夢や目標を見つけよう」「チャレンジすること、挑戦することを怖がらない」「挑戦って素晴らしい、人生って超楽しい」障害者の人口とパラリンピックのメダル

- ・障害者の無限の可能性 (リオパラリンピック開催時に作成されたCMから)
- ・夢や目標をもつことの大切さ (自身の障害を乗り越えた体験から)
- ・東京で行われるパラリンピック大会の意義とみんなが楽しめる社会に向けて

(6) 実技内容

「ボッチャ交流会」

ボッチャ指導員としての経験がある田中選手からボッチャのゲームの行い方について説明を受けた後、学年ごとに分かれて田中選手とふれあいながら交流会を行った。



3 【北上市立黒沢尻西小学校】

- (1) 実施日時 令和3年11月24日(水) 14時05分から15時40分
(2) 対象 4・5・6年生 211名
(3) 派遣講師 山田 美諭 氏 (オリンピック)
(テコンドー 東京オリンピック大会日本代表選手)

(4) 事業内容 (講演・実技)

- 14:05 ~ 開会行事
14:10 ~ 校長講話
14:45 ~ 講演
15:00 ~ デモンストレーション
体験活動
15:30 ~ 写真撮影
15:40 終了



(5) 講演内容

演題「夢中になれるものを見つけよう」

- ・自己紹介 (全国優勝8回、世界大会3位)
- ・テコンドーって何? <競技の動画を視聴>
- ・私のテコンドーの歴史
- ・ケガで学んだこと
- ・夢中になれるものを見つけよう (みんなへのメッセージ)

今、夢がある人も無い人も居る。勉強でもスポーツでも結果がたとえ出なかったとしても、夢に向かって努力したことが、大人になってからの人生にとっても役立つ。自分の可能性を信じて!!

(6) 実技内容

「演舞 (板割り)、蹴り」

演舞として、複数種類の蹴り技で山田選手が実際に板割りのデモンストレーションを行った。また、山田選手から複数の蹴りの説明を受けた後、学年代表児童数名がハンドミット係の先生方を相手に蹴りの実技体験を行った。



4 【釜石市立鶴住居小学校】

(1) 実施日時 令和3年11月21日(水) 9時35分から11時30分

(2) 対象 6年生 24名

(3) 派遣講師 池崎 大輔 氏 (パラリンピアン)

島川 慎一 氏 (パラリンピアン)

(車いすラグビー 東京2020パラリンピック大会日本代表選手 銅メダリスト)

佐藤 裕 氏 (日本車いすラグビー連盟 広報委員長)

吉成 章 氏 (日本車いすラグビー連盟 広報委員長代理)

加賀田 亮佑 氏 (日本車いすラグビー連盟 広報委員)

(4) 事業内容 (講演・実技)

9:35 ~ 開会行事

9:40 ~ 講演

10:10 ~ 質疑応答

10:25 ~ 実技体験

11:15 ~ 質疑応答・感想発表

11:25 ~ 写真撮影・閉会行事

11:30 終了



(5) 講演内容

- ・自己紹介
- ・車椅子ラグビーを始めた経緯 (きっかけ)
- ・東京2020パラリンピック競技大会に出場して得たこと
- ・車椅子ラグビーに関わって人生を充実させるために伝えたいこと

「やりたいこと、夢、目標は大事だが、そこに向かってやりとおすことが大事」

◆ 考えて乗り越える → 成長した自分に会える

1人では困難な時、頑張っていれば応援してくれる人が支えてくれる

「ありがとう」を言える人に、「ありがとう」を言ってもらえる人になってもらいたい

これから、いろんな場面で迷うことも多いと思うが、次の2つが大事

◆ 挑戦すること

◆ あきらめないこと

(6) 実技内容

「タックル、ゲーム形式」

児童が6チームに分かれ、児童4名+選手1名の5対5で車椅子ラグビーのミニゲーム(試合時間2分)の体験活動を行った。日本車いすラグビー連盟の方々の進行及び実演等の補助のもと、児童同士、選手が児童へ、児童が選手へ状況に応じタックルを行ったり、トライするためノーマークの味方を見つけてパスをしたりするなど、実践形式で選手との交流を行った。



5 【宮古市立花輪小学校】

< 1回目 >

- (1) 実施日時 令和3年11月1日(月) 10時10分から11時00分
(2) 対象 1・2年生 47名
(3) 派遣講師 岩手ビッグブルズ チアダンスチーム (県内アスリート)
RENA 氏
AYANO 氏

(4) 事業内容(実技)

- 10:10 ~ 開会及び講師紹介
10:40 ~ 実技「チアダンス教室」
10:50 ~ 質疑応答
10:55 ~ 写真撮影
11:00 終了

(5) 実技内容

「チアダンス教室」

児童は、音楽に合わせて体を動かすことの楽しさ、体幹部でリズムに乗って弾む動きや、ねじる、回る、移動するなどの動きを学ぶことができた。後半には、みんなで振りを揃えて楽しく踊ることができた。

- ・チアの動きにつながるサーキットトレーニング
- ・リズムダンス
- ・ブルゾーダンス



<2回目>

- (1) 実施日時 令和3年12月6日(月) 9時30分から11時25分
(2) 対象 5・6年生 51名
(3) 派遣講師 中村 真衣 氏 (オリンピック)
(競泳 2000年シドニーオリンピック 100m背泳ぎ 銀メダリスト
〃 400mメドレーリレー 銅メダリスト)

(4) 事業内容 (講演・交流)

- 9:30 ~ 開会及び講師紹介
9:35 ~ 講演
10:30 ~ 交流「オリパラクイズ大会」
11:10 ~ 質疑応答
11:15 ~ 写真撮影
11:20 ~ 講師への謝辞
11:25 閉会

(5) 講演内容

演題「栄光へのあしあと」

- ・小学校6年生の時に水泳が嫌いになり、指導者への言い訳からバタフライから背泳ぎに転向したこと。
- ・初のオリンピック出場となったアトランタ大会での4位であった悔しさをバネに、その後の練習に打ち込み、シドニー大会での銀メダル獲得につながったこと。
- ・メダリストとしての光り輝く部分だけでなく、アスリートとしての悩みや苦しみという影の部分もあること。
- ・「挨拶をすること」「笑顔でいること」「チャレンジすること」が大切であること。

(6) 交流内容

「オリパラクイズ大会」

講演後に行われた「オリパラクイズ大会」では、クイズを通して、楽しい雰囲気の中で「オリパラについての学び」が深められた。



<3回目>

- (1) 実施日時 令和3年12月14日(火) 10時10分から11時00分
(2) 対象 3・4年生 57名
(3) 派遣講師 岩手ビッグブルズ バスケットボールチーム (県内アスリート)
千葉 慎也 氏 (選手)
仁平 拓海 氏 (選手)
鈴木 友貴 氏 (アシスタントコーチ)

(4) 事業内容 (実技)

- 10:10 ~ 開会及び講師紹介
10:40 ~ 実技「バスケットボール教室」
10:50 ~ 質疑応答
10:55 ~ 写真撮影
11:00 終了

(5) 実技内容

「バスケットボール教室」

千葉慎也選手を中心とした指導のもと、「コミュニケーション力を高めるための動きづくり」が行われた。子供たちは、楽しみながらバスケットボールにつながる動きを身に付けるとともに、積極的にコミュニケーションをとることの大切さについて学ぶことができた。

- ・仲間づくり (10人組・4人組)
- ・ボール投げ上げキャッチ (拍手の回数・一回転して)
- ・シュート合戦 (パワーポジションを意識しながら)
- ・ドリブルリレー



6 【奥州市立東水沢中学校】

(1) 実施日時 令和3年11月11日(木) 13時35分から15時40分

(2) 対象 3年生 120名

(3) 派遣講師 阿渡 健太 氏 (パラリンピアン)
(パラテコンドー日本代表選手)

(4) 事業内容 (講演・実技)

13:35 ~ 開会行事

13:40 ~ 講演

14:20 ~ 休憩、換気、準備

14:30 ~ 実技体験

15:20 ~ 質疑応答

15:25 ~ 閉会行事

15:30 ~ 写真撮影

15:40 終了



(5) 講演内容

演題「障害者は特別な存在ではない みんな同じ一人の人間だ」

- ・自己紹介 (自身の障がいについて、仕事は人事系 (面接官)、YouTube)

- ・障がいの話 (小学校の頃、高校の頃)

 - ◆壁にぶち当たったとき ⇒ チャレンジ、工夫、どうやったらできるか考えること

- ・YouTube紹介

 - 始めた理由 パラテコンドーの普及促進、障がい者の理解促進

 - 動画視聴 食事、文字・PC・スマホ、自転車、風呂の入り方

- ・みなさんへのメッセージ

 - ◆できないことをあきらめず、どうやったらできるか考える

 - ◆考えたことを実行 (挑戦) する 挑戦することで人は成長する

- ・パラリンピックとテコンドーについてのクイズ

(6) 実技内容

「蹴り、板割り」

阿渡選手から複数の蹴りの説明を受けた後、参加生徒全員がハンドミット係の先生方を相手に蹴りの実技体験を行った。学年ごとに分かれて阿渡選手とふれあいながら交流会が進められた。最後に代表生徒等が実技体験で修得した蹴りで実際に板割りを披露した。



7 【二戸市立金田一中学校】

< 1回目 >

(1) 実施日時 令和3年11月30日(火) 13時30分から15時30分

(2) 対 象 1・2・3年生 121名

(3) 派遣講師 中村 真衣 氏

(競泳 2000年シドニーオリンピック 100m背泳ぎ 銀メダリスト

〃

400mメドレーリレー 銅メダリスト)

(4) 事業内容 (講演・交流)

13:30 ~ 開会行事

13:35 ~ 講演・質疑応答

14:30 ~ 交流 (オリパラクイズ大会)

15:10 ~ 記念撮影

15:20 ~ 閉会行事

15:30 終了



(5) 講演内容

- ・小学生(6年)の時に「水泳が嫌い」になり、指導者への言い訳から「背泳ぎ」に転向
- ・日本でトップになり、世界大会に出場し「世界の壁」を実感し、初のオリンピック(アトランタ)で4位になるも、「悔しさ」だけを感じて猛練習に励んだ結果、シドニー五輪(個人種目)で銀メダルを獲得した。
- ・シドニー五輪メドレーリレーで銅メダルを獲得したが、個人的には納得のいく泳ぎができず(「自分の役目が果たせない」と表現)仲間に獲らせてもらったという感覚だった。
- ・その後は、競技者としては下降線をたどることとなる。(時間の都合上、今回はメダル獲得までととなった。)
- ・振り返ると、「辛い」「苦しい」思い出ばかりだが、夢を持って努力したことで、仲間や母親などが支えてくれた。
- ・「オリンピックで金メダルを取る」という夢は叶わなかったが、自分の人生は駄目だとは思わなく、夢を持つことで自分が強くなれたし、「強い自分と弱い自分の両方を知ること」で成長できたと思う。
- ・「辛い」「うれしい」「楽しい」などを感じる経験をたくさんしてほしい。

(6) 交流内容

「オリパラクイズ大会」

講演後に行われた「オリパラクイズ大会」では、クイズを通して、楽しい雰囲気の中で「オリパラについての学び」が深められた。



<2回目>

- (1) 実施日時 令和3年12月3日(金) 13時30分から15時50分
- (2) 対象 1・2・3年生 121名
- (3) 派遣講師 阿渡 健太 氏 (パラリンピアン)
(パラテコンドー日本代表選手)
太田 渉子 氏 (パラリンピアン)
(バイアスロン 2006年トリノパラリンピック大会 銅メダリスト
クロスカントリー 2010年バンクーバーパラリンピック大会 銀メダリスト
パラテコンドー 東京2020パラリンピック大会日本代表選手)

(4) 事業内容 (講演・実技)

- 13:30 ~ 開会行事
13:40 ~ 講演
14:25 ~ 休憩
14:35 ~ 実技体験
15:35 ~ 記念撮影
15:45 ~ 閉会行事
15:50 終了



(5) 講演内容

- ・心の変化について
- ・主体的に行動することについて
- ・YouTube紹介
- ・パラリンピックとテコンドーについてのクイズ及び動画視聴
- ・生徒からの事前質問への回答
- ・生徒へのメッセージ

(6) 実技内容

「蹴り、板割り」

太田選手、阿渡選手から複数の蹴りの説明を受けた後、参加生徒全員がハンドミット系の先生方を相手に蹴りの実技を行った。太田選手、阿渡選手とふれあいながら交流会が進められた。最後に代表生徒等が実技体験で修得した蹴りで実際に板割りを披露した。



Ⅲ 実践報告会

【開催概要】

1 目的

本県における「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」として、令和3年10月から12月にかけて、小・中学校の推進校計7校に対し、オリンピック・パラリンピアン等の講師を派遣し、講義・実技等の取組を行った。

本報告会は、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（オリンピック・パラリンピック教育地域拠点）」（令和3年度）」において実施したオリンピック・パラリンピアン等の派遣及び、それらをきっかけとして各推進校が学校の特性に応じて実施したオリンピック・パラリンピック教育の成果を発信するとともに、スポーツの価値への理解と多面的な教育的価値について、推進校のみならず県内の教員による情報共有や意見交換を図り、本県における今後のオリパラ教育の方向性について示すことを目的とし、開催したものである。

2 主催

岩手県教育委員会

3 協力機関

早稲田大学 オリンピック・パラリンピック教育研究センター

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業(全国中核拠点)」岩手県担当

4 日時

令和4年2月18日（金）13時00分～16時40分

5 会場

サンセール盛岡 鳳凰

6 参加者

- (1) 推進校担当教員 各校1名
- (2) 参加を希望する教員（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）
- (3) 教育事務所指導主事

7 日程

- (1) 開会（13:00）
- (2) 挨拶（13:00～13:05）
岩手県教育委員会事務局保健体育課 総括課長 清川 義彦
- (3) 各推進校におけるオリパラ教育の取組報告（13:05～14:30）
報告：各推進校担当者
講評：吉永 武史 氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）
- (4) 説明（14:30～15:15）
「今後のオリパラ教育の方向性について」
岡田 悠佑 氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）
「本県における今後のオリパラ教育の方向性について」
齊藤 智彦（岩手県教育委員会事務局 保健体育課）
講評：吉永 武史 氏（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）
- (5) 講演（15:30～16:30）
講師：鈴木 大地 氏（順天堂大学 スポーツ健康医科学推進機構 機構長）
- (6) 連絡（16:30～16:40）
- (7) 閉会（16:40）

【内容】

令和4年2月18日（金）、サンセール盛岡において「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（オリンピック・パラリンピック教育地域拠点）」（令和3年度）実践報告会を開催した。

各推進校における取組報告では、例年はグループワークの中で実践報告・協議を行い、全体共有により共通理解を深めていたが、今年度は各推進校が事前に作成した報告書をもとに、実践事例の紹介や課題、次年度の取組の方向性について報告いただいた。報告後は、質疑応答の後、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの吉永武史氏から各推進校の取組に対して個別に講評をいただいた。

続いての説明では、「今後のオリパラ教育の方向性について」と題して、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの岡田悠佑氏からオンラインにて、これまでの全国展開事業での実践を通して明らかとなった今後のオリパラ教育の方向性について説明いただいた。その後、「本県における今後のオリパラ教育の方向性」について、事務局担当者から、本県における今後のオリパラ教育に向けての考え方や取組例、県教育委員会としての取組内容等についての説明を行った。

最後は、「スポーツが変える。未来を創る。」と題して、講師の鈴木大地氏から、金メダリストであるオリンピックアンとしての視点や、初代スポーツ庁長官としての立場から見たオリンピックやスポーツのもつ多面的な価値を学ぶ重要性や、社会におけるスポーツ・健康の必要性について等、今後のオリパラ教育の展開に向けて示唆に富むお話をいただくことができた。



IV オリンピック・パラリンピック教育に関するアンケート

全体（小・中学校）

質問 1	オリンピックに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	271	285	66	16	638
	割合	42.5%	44.7%	10.3%	2.5%	
		87.1%		12.9%		
質問 2	パラリンピックに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	199	307	105	27	638
	割合	31.2%	48.1%	16.5%	4.2%	
		79.3%		20.7%		
質問 3	オリンピック・パラリンピック並びにスポーツの意味や大切さに対する理解・関心が高まりましたか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	305	285	34	14	638
	割合	47.8%	44.7%	5.3%	2.2%	
		92.5%		7.5%		
質問 4	スポーツをすることで、自分で考えて行動することができたり、親しい友だちを作ったりすることができると思いますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	314	259	47	18	638
	割合	49.2%	40.6%	7.4%	2.8%	
		89.8%		10.2%		
質問 5	お年寄りや障がいのある人と交流したいと思いますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	217	297	107	17	638
	割合	34.0%	46.6%	16.8%	2.7%	
		80.6%		19.4%		
質問 6	運動やスポーツをすること、見ることに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	354	200	68	16	638
	割合	55.5%	31.3%	10.7%	2.5%	
		86.8%		13.2%		